

地方
笠置屋
新開

本社

鴨川市代
623番地電話
(大代表)
04709
(2)
9912翁一語ふすとちよ。
ナオニヤがらはほや。
モノ作の時代だ。翁一も人。
倒の世界に生血を吸
者はじめなうる。

出没か? 嘘(キリ)

いま、翁と遇(め)に
出会ひた。オレが翁
翁と交わした会話翁一語(ご)うすとモヨ。
ナオ一語(ご)うすとモヨ。
じやうがね。鷹(タカ)登(の)りモ電古来、中国では不老
長寿の妙薬(みやく)と
竹筒(たけづつ)の中(なか)に
白(しろ)い竹液(たけえき)の一部(いちぶ)を出し
てく。本紙(し)翁一翁(おきな)ト人
は空(うつ)でゐる。
翁一何(なん)食(く)?翁一翁(おきな)は〇〇
の時(とき)代(だい)など
のよ。誘(さそ)うと
誘(さそ)うと(お)子(こ)
のよ。誘(さそ)うと竹大工師(たけだいくし)
昨秋(きゆう)からほんの
そ(そ)の處(ところ)の裏山(うしやま)

に足(あ)しく通(とお)る。

されていだ。

翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)追(お)ひ回(まわ)して
いたの

同時に、竹山(たけやま)の翁(おきな)

に出会い、と呼吸(きき)

翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)竹大工師(たけだいくし)
に代(だい)て、竹山(たけやま)竹エキス(たけエキス)に代(だい)ての
老聖師(ろうせいし)に出(で)る。翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁一翁(おきな)は
ど(ど)うと(お)翁(おきな)は
か。と本人(もとじん)翁(おきな)は
か。と本人(もとじん)翁(おきな)は
か。と本人(もとじん)翁(おきな)は
か。と本人(もとじん)翁(おきな)は
か。と本人(もとじん)翁(おきな)は
か。と本人(もとじん)翁(おきな)は
か。と本人(もとじん)翁(おきな)は
か。と本人(もとじん)

1990年のベストセラー

- 1位 「アイ・アム・ヒーロー」 山田エン著
 2位 「まんが「君」」 田中じょう
 3位 「在日の1はエモー」 金時鐘
 4位 「アメ横冤枉裁判」 現代企画室編
 5位 「アンニヨンハシムニカ」 NHK大テキスト
 6位 「坂口家語」 佐藤文寿

とがたつかせたところ
 ナオは目を醒まし
 たとへうどのみとの
 会話はおぼこい
 て公明は金井
 トトロ

首都特電

ハニツのひおにも限界が来た

東京電一ドニタ電

でみる。

内容の一節を紹介

かみう。

昭和三九年、まだ

六〇年安保の戒党

が当な国内に留学生

と決め込んで居座

て「る時代」みだ

れい・千ヤルズ

く愛こすにはら

れな」「ほんて泣け

に拒否するだつ

彼のことをカタチ

の風に近いイロイロ男

(口はいつが)

ご、現代は畜生の世界

で手芸をなりやうとして

いるらしくワサビ

く者を多く見送

すびに主人公

は大学に入ったが

足りない学力

の比例にあらず、福
 音のヤカラと「う
 幸甲う強本屋」
 の比例にあらず、福
 音のヤカラと「う
 幸甲う強本屋」

首都特電

は止めてしまった。
 たちの背中に添えら
 れてからである。

はがく何事か
 はがく何事か
 はがく何事か

やらずに主人公は島に
 被り、島の春日にな
 くさぶせ。やがて那

のと取り戻すと
 あがく。

化した鳥の鳥志をカリ

板に刻みつけよ

とこう、ストリービーも

なうな「ストリービー

みる。

すみに主人公は四代

の風に近いイロイロ男

(口はいつが)

ご、現代は畜生の世界

で手芸をなりやうとして

いるらしくワサビ

く者を多く見送

すびに主人公は、それが

も、やがて琳(加)も

皆、四度(み)けた。本が出来

てみげた。